

明治大学 2019 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修先名	エンデラン大学
-------------	---------

所 属	経営学部 経営学科 経営学専攻 2年
------------	--------------------

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)

留学先では Accenttraining, oral communication, chatter box, social study などの授業を通じて英語の効果的な話し方や使い方を学んだ。最初は英語を話すことに対して抵抗感などあったが徐々に改善されていき最終的には英語を使ってコミュニケーションを取る楽しさを学んだ。留学前と比べて特に発音が強化されたと思う。またそれにともないリスニング能力も向上した。ある程度の会話は聞き取れるようになり早い返答もできるようになったので帰国後も意識して英語を使って練習していくことで次のステップに進みたいと考える。全体的にとても満足した留学であったので本当に言って良かったと思う。

課外活動等,授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)

週末にはマニラの郊外に出かけてフィリピンの社会問題や歴史について考えることができた。特に印象的だったのはストリートチルドレンである。私たちの寮は都会にあり近くの子供達は小綺麗な服装をしていた。しかし少し離れただけで靴や服を着ていない子供や give me money と物乞いをする子供、道路脇に立っていて信号で止まっている車の窓を拭くことでお小遣いを得ている子供が多かった。そういった実態を知ってはいいたもの見たのは初めてだったので衝撃を受けた。私が何かできることはないかと考えるきっかけになった。日本にいながらも協力できることはしていきたいと思う。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250～300 字程度)

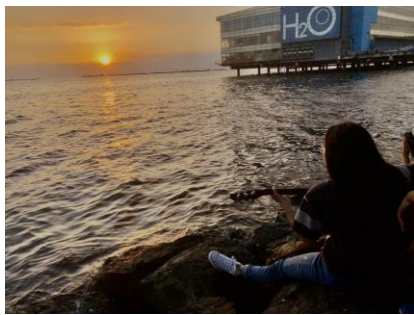
フィリピン人にはフィリピンタイムがあるということに驚いた。具体的には時間にルーズな人が多いということである。そのためなのかフィリピン人はおおらかで笑顔が素敵な人が多いと感じた。また、マイボトルの普及率の高さにも驚いた。ウォーターサーバーが至る所にあり誰でも利用することができ、カフェなどでも割引になったりする。日本ではそこまで普及率は高くないように感じるので見習うべきであると思った。また、フィリピンのマニラの海が汚いことが少し気になった。セブ島といった観光地のビーチはとても綺麗でリゾート地にもなっているが首都に近い海はゴミや異臭などがありフィリピンの環境問題なども感じた。大学のゼミでは環境経済学について勉強しているので注目していきたいと思う。

今後の展望・目標について,留学前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)

留学前は就活の為の英語勉強という意味合いが強かったが、留学を終えた今、英語を使って様々な人と話したい、知識を得たいという思いが強くなった。正直今まで英語を学ぶ意味が分からなかったがこの留学を通じてなぜ英語が必要とされてきているのかを理解することができた。今後は世界に目を向けて学部の勉強や英語の勉強を続けていきたいと思う。具体的には定期的な公式な英語テストの受験、日常的な英語のリスニング、英字新聞、BCC や ANN といったニュースを見ることで社会勉強をしながら実践的な英語を学んでいく。今回の留学に参加して本当に良かったと心から思う。

写真貼付 (1 枚)

※研修先で撮影した写真を 1 枚 (1MB 以内) ご提供ください。撮影場所・写真の説明も記載してください。
オーシャンパークの近くの海でサンセットを見ながらギターを弾く現地の少女



【注意事項】提出された留学報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。
【写真提供の注意事項】※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。